

●心カテ室研修プログラム

研修期間：

年

月

～

月

氏名（

）

長期到達目標	到達時期	短期到達目標	行動計画	フォロー体制	勤務体制	学習到達度	
予定CAGが自立できる	1ヶ月目 (月)	初日 (月日)	放射線科業務を理解することができる カテーテル検査の実際を知ることができる 術前情報収集ができる	・心カテ室オリエンテーションを受ける ・実際に検査室に入り一連の見学する ・適宜、相談しながら次の日の検査の術前情報収集を行う	マンツーマン指導	日勤のみ	解剖 薬剤 CAG LVG
		2日目	部屋の準備ができる	・部屋のラウンドチェックを行い、検査の準備を一緒に行う			
			入室時の患者確認ができる	・入室時の患者確認マニュアルを確認する ・放射線技師とともにダブルチェックを行う			
			入室時の介助ができる	・患者を検査台へ誘導し、検査準備をする ・フォロー担当者とともに検査介助を行う			
			病棟から申し送りを受けることができる	・入室時の申し送りを一緒に受ける			
		3日目	入退室の看護を見守り下でできる	・患者確認・申し送りを見守り下で行う ・退室時の申し送りを一緒に行う			
			外回り業務を一緒にできる	・フォロー者と一緒に外回り業務を行う ・術前情報を理解した上で患者対応ができる ・合併症やアレルギー反応時の対応ができる			
		5日目	記録業務ができる	・助言を受けながら検査中に記録を行う			
	★予定CAGの一連の業務を自立できる		・患者に声かけしながら外回り、記録を行う ・適宜、フォロー者に相談しながら行う				
	2週目	予定PCIの流れがわかる	・予定PCIを見学し一連の流れの説明をうける ・フォロー担当者のシャドーイングを行う				
		★3週目で予定CAGの完全自立を目指す★					
	3週目	治療中、外回り看護を一緒にできる	・外回り業務をサポートで行っていく				
		治療中の記録を行うことができる	・助言を受けながら治療中に記録のみを行う				
	4週目	★予定PCIの一連の業務を自立できる	・他職種と連携し看護を行う				
2ヶ月目 (月)	1週目	★1ヶ月1週目で予定PCIの完全自立を目指す★					
	2週目以降	緊急カテに入り、他スタッフともに動くことができる	・緊急カテ時の連絡方法の説明を受ける ・緊急カテ時のシミュレーションを行う ・カテ室内の物品配置の再確認を行う ・一緒に外回りを主に行う ・他スタッフの動きから自ら振り返る				
		●頻度の少ない検査はいつ入れるかわからないので学習 ★頻度の少ない検査の一連の業務を自立できる ※頻度の少ない検査のため入れる時に実施	・各検査について学習する ・各検査に入り、検査の流れを理解する ・適宜、他スタッフに相談しながら行う				
	3ヶ月目 (月)	★緊急症例状態観察・医師へ指示を仰ぎながらひとりで動くことができる ABLの前日準備ができる	・再循環障害のリスクを理解しながら入る ・対応できない場合はすぐに応援要請をする ・前日準備の説明をうけ、実施する ・術前訪問の見学を行う				
	4ヶ月目 (月)	脳Angio(診断)の流れがわかり、検査介助で	・見学、シャドーイングを行う ・助言をうけながら外回り、記録を実践する				
	5ヶ月目 (月)	ABLの「外回り業務」が実践できる	・ABL事前準備の説明をうける ・見学し一連の業務の流れを理解する ・ABLの外回りを実践する				
各検査・緊急カテに入り知識を深める		・進んで検査に入り経験を積む					
6ヶ月目 (月)	★一連の予定心カテ・緊急カテ・脳Angioの自立★						

※進行具合によりプログラム内容は変更することもあります

※マンツーマン指導は「1ヶ月間と1週間」となっています。

※緊急カテに関しては最終目標は自立ですが、最低限、「入室時の検査準備」ができるようになりましょう。

※ABL、脳Angioは心カテの進行状況で開始時期を調整します。どちらから開始するかは件数次第で前後することもあります。

改定日 2018年5月21日